

(3) 内容及び方法

- ① 研究主題 婦人団体の運営と活動のあり方
- ② 講義・演習
 - ア これからの婦人会活動
 - イ 事業のすすめ方
 - ウ 婦人の役割
 - エ 会議のすすめ方
 - オ 婦人団体の事務管理
- ③ 研究討議
 - ア リーダーとしての資質
 - イ 組織の現状と課題
- ④ その他
 - 交歓のつどい

7 婦人国内研修

(1) 趣 旨

県内の婦人団体、婦人学級、婦人教育関係者を県外に派遣し、その地域における婦人の生活、学習、団体活動、社会教育施設等の実地視察、研究調査を行うとともに、その地域の婦人との交歓研修を行うことにより、社会的視野をひろめ、資質の向上をはかり、もって本県婦人教育の振興に資する。

(2) 期日、派遣先、参加者

- ① 期 日 昭55年9月9日～13日 4泊5日
- ② 派遣先 青森県
- ③ 参加者 8名 外に引率1名

(3) 視察調査並びに研修内容

調査地	内 容
十和田湖町	○十和田湖町の婦人教育の現状 ○十和田湖町婦人団体連絡協議会との交歓研修(婦人団体の運営とボランティア活動)
弘 前 市	○弘前市の婦人教育の現状 ○弘前市婦人団体連絡協議会との交歓研修 ○社会教育施設及び史跡見学
青 森 市	○青森市・青森県の婦人教育の現状 ○青森県婦人団体連合会との交歓研修

8 婦人学級生研究大会

(1) 趣 旨

「国連婦人の十年」期央世界会議が開催されるなど、「平等、発展、平和」への婦人の寄与が極めて重大になっている今日、婦人自身の積極的な社会参加を促進するため、県下の婦人学級生及び婦人教育関係者が一堂に会し、婦人学級の役割を自覚し、より一層婦人学級の学習効果の向上をはかり、もって婦人教育の振興に資する。

(2) 期日、会場、参加者

- ① 期 日 昭56年10月15日、16日 1泊2日
- ② 会 場 全体会 白河市民会館
分科会 白河中央公民館
白河市文化センター
白河農協西郷事業所
- ③ 参加者 婦人学級生、婦人教育関係者 401名

(3) 内 容

- ① 研究主題 婦人学級の学習内容の充実と効果的な運営のあり方
- ② 研究学級実践報告
 - ア 県 中 小野町谷津作婦人学級
 - イ 相 双 大熊町婦人学級
 - ウ いわき いわき市常磐婦人セミナー
- ③ 講 演
 - 演 題 婦人の社会参加と学習活動
 - 講 師 金城学院大学文学部助教授 天 野 正 子

④ 研究協議

- ア 協議題 婦人学級の学習内容の充実と効果的な運営のあり方
- イ 構成 8分科会
- ウ 問題提起
 - 第1分科会 県 北 福島市渡利婦人学級
 - 第2分科会 県 中 郡山市中央リーダー婦人学級
 - 第3分科会 県 南 棚倉婦人学級
 - 第4分科会 相 双 小高中央婦人学級
 - 第5分科会 南会津 下郷町中央婦人学級
 - 第6分科会 いわき 常磐婦人セミナー
 - 第7分科会 会 津 安久津婦人学級
 - 第8分科会 県 南 塙町中央公民館

⑤ 国内研修報告

⑥ ま と め

9 婦人教育指導者研修会

(1) 趣 旨

婦人教育活動の各分野にわたり、自発的な学習を促進援助することは極めて重要な課題である。そのため、中心的な役割をはたす民間の有志指導者を養成し、地域のリーダーとして実践活動を推進することにより、本県婦人教育の振興に資する。

(2) 期 日

- ① ブロック研修(事前) 昭55年6月30日(月)
- ② 中央研修(前期) 昭55年7月8日～7月10日
- ③ ブロック研修(中間I) 昭55年8月26日
" (中間II) 昭55年10月23日
- ④ 中央研修(後期) 昭55年11月11日～11月13日

(3) 会 場

- ① ③……各教育事務所ごと、県下7会場
- ② ④……国立磐梯青年の家

(4) 参 加 者

- 対象……原則として年齢45歳未満の婦人で、次の①～④のいずれかに該当し、市町村教育委員会が推薦する者 111名
- ① 市町村における社会教育指導員または婦人教育指導員
- ② 市町村教育委員会事務局ならびに公民館等職員のうち、中堅層として今後の活動を期待される者
- ③ 婦人学級、婦人団体、職場等のリーダーとして現在ならびに今後の婦人教育活動を期待される者
- ④ 上記以外の者で、今後の活躍が期待され、地域からも